

北海道新幹線と移転対策について

町長 移転対象予定者の意向を確認しながらすすめたい



三島 喜吉 議員

町長

旧胆振線跡地の町有地の宅

地分譲については、5月10日に区画道路宅地設計等の調査及び測量に着手している。これらを経て都市計画法による開発許可制度に基づく許可申請図書を作成し年度内に開発許可の手続きをすすめ、平成31年度より造成工事をすすめたい。

今後、希望者が上回る事が想定されるので移転対象予定者の意向を確認しながらすすめたい。

三島

北海道新幹線事業が進捗し

ていく中で倶知安駅以北の移転対象予定者113名に対しての説明会が2月に開催されているが、まだ半数の方々の結論がでていない現状にある。

倶知安町として移転対

策の一環として旧胆振線跡地での宅地造成として36000㎡40区画の造成にむけ今年度調査・測量の実施を予定されておりますが半数以上の方々の今後の対策が重要な問題であると思う。

倶知安町としての移転対策について町長のご見解を伺う。



宅地造成事業を計画している旧胆振線跡町有地

一般質問 三島喜吉

旧東陵中学校の再利用計画について

三島

東陵中学校は平成25年3月

に閉校され5年が経過している中で、再利用について各方面から打診があるが、まだ方向性が定まっていない現状にある。耐震改修7000万円をかけたこの施設の町民が憩う場としての再利用計画について伺う。

としており、時間が要すると思われる。

今後の再利用計画については施設自体40年を経過し、施設規模の大きさや都市計画上の利用制限等いろいろな課題をかかえているので、今回の打診が不成立になった場合には解体をも視野に入れて検討していきたい。

町長

施設利用について、現在一

般民間事業者による語学教室としての打診があり、本年2月に現地下見がなされ語学教室としての活用を模索している。

その際の施設改修については事業者負担とする考えのもとでの活用プランの提出がされるもの